

令和 5 年 5 月 1 9 日

交 通 事 故 概 況

令和 5 年 4 月 末 計 上 数 (確 定 数)

警 察 本 部 交 通 部 交 通 企 画 課

北海道の交通事故概況（4月末計上数（確定数））

1 令和5年4月中の交通事故発生状況

区分\内容	4月中	前年比	4月末	前年比
発生件数（件）	594	2	2,985	219
死者数（人）	4	-6	24	-3
傷者数（人）	705	8	3,554	301

[過去10年、4月中及び年間死者の推移]

区分\年別	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	過去平均		R5年
											10か年	5か年	
4月中死者	10	12	17	14	7	3	11	8	8	10	10	8	4
4月末死者	39	42	43	43	30	36	30	34	32	27	36	32	24
年間死者	184	169	177	158	148	141	152	144	120	115	151	134	—

都道府県別（4月中）

順 位	1	2	3	4			13
都道府県名	大阪府	愛知県	東京都	千葉県	福岡県	兵庫県	北海道外
死 者 数	18	13	11	9	9	9	4

都道府県別（4月末）

順位	1	2	3	4	5	10
都道府県名	大阪府	愛知県	千葉県	東京都	福岡県	北海道
死者数	58	48	39	37	36	24

2 交通死亡事故の発生状況

(1) 4月中の死亡事故(死者4人)

- 事故類型別：車両単独が2人(50.0%)、人対車両、正面衝突が各々1人(25.0%)
- 道路別：国道が3人(75.0%)、高速道路が1人(25.0%)
- 地形・道路形状別：非市街地直線が2人(50.0%)、市街地直線、非市街地カーブが各々1人(25.0%)
- 発生時間別：16～18時が2人(50.0%)、12～14時、14～16時が各々1人(25.0%)
- 第一当事者年齢別：若年運転者、40歳代運転者、50歳代運転者、高齢運転者が各々1人(25.0%)
- 第一当事者違反別：前方不注意が3人(75.0%)、安全速度が1人(25.0%)
- 死者年齢別：高齢者が2人(50.0%)、20～24歳代、50歳代の死者が各々1人(25.0%)

(2) 4月末の死亡事故(死者24人)

- 事故類型別：
 - ・ 人対車両が6人25.0%（うち歩行者妨害、安義その他が各々2人33.3%）
 - ・ 正面衝突が6人25.0%（うち操作不適が3人50.0%、前方不注意が2人33.3%）
 - ・ 出会い頭が6人25.0%（一時不停止が4人66.7%、信号無視が2人33.3%）
 - ・ 車両単独が6人25.0%（前方不注意が4人66.7%、最高速度、安全速度が各々1人16.7%）
- 道路別：
 - ・ 道道が11人45.8%（うち出会い頭が5人45.5%、車両単独が3人27.3%）
 - ・ 国道が8人33.3%（うち人対車両が3人37.5%、正面衝突、車両単独が各々2人25.0%）
- 地形・道路別：
 - ・ 市街地交差点が8人33.3%（人対車両、出会い頭が各々3人37.5%、車両単独が2人25.0%）
 - ・ 非市街地直線が7人29.2%（うち正面衝突、車両単独が各々3人42.9%）
- 発生時間別：
 - ・ 18～20時が6人25.0%（うち人対車両、車両単独が各々2人33.3%）
 - ・ 12～14時が5人20.8%（出会い頭が3人60.0%、人対車両、車両単独が各々1人20.0%）
- 第一当事者年齢別：
 - ・ 40歳代運転者による死者が9人37.5%（うち人対車両、出会い頭が各々4人44.4%）
 - ・ 高齢運転者による死者が6人25.0%（うち車両単独が3人50.0%）
- 第一当事者違反別：
 - ・ 前方不注意が7人29.2%（うち車両単独が4人57.1%、正面衝突が2人28.6%）
 - ・ 一時不停止が4人16.7%（出会い頭が4人100.0%）
- 死者年齢別：
 - ・ 高齢者の死者が8人33.3%（うち人対車両が3人37.5%、正面衝突、車両単独が各々2人25.0%）
 - ・ 30歳代の死者が4人16.7%（うち正面衝突2人50.0%、出会い頭、車両単独が各々1人25.0%）
 - ・ 50歳代の死者が4人16.7%（人対車両、正面衝突、出会い頭、車両単独が各々1人25.0%）
- シートベルト着用者：

自動車乗車中の死者18人中、シートベルト非着用者は4人(22.2%)であり、2人は、シートベルトを装着していれば助かった可能性が高い。

(3) 方面別発生状況

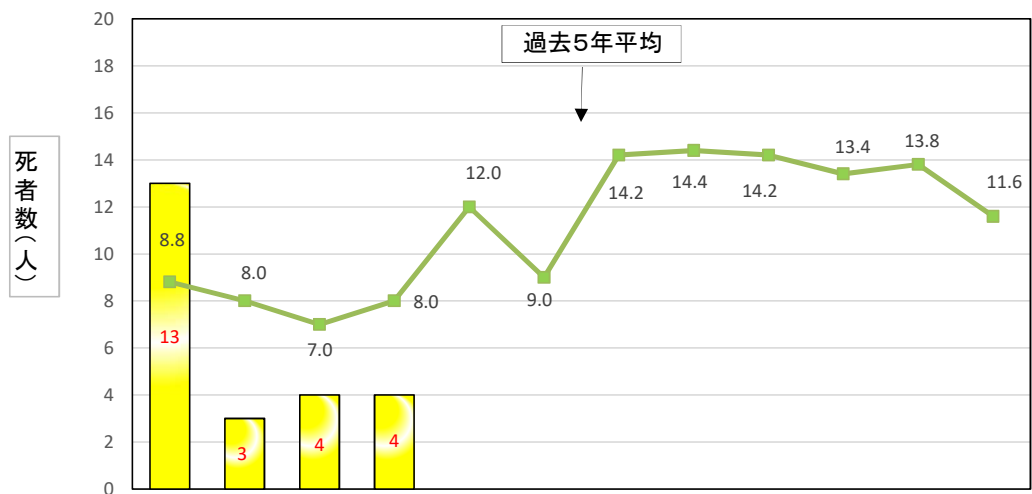
4月中の死者は札幌方面が2人(50.0%)、釧路方面、北見方面が各々1人(25.0%)となっている。
4月末の死者数は札幌方面が14人(58.3%)、旭川方面が4人(16.7%)、釧路方面、北見方面が各々3人(12.5%)となっている。

方面別\区分	発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
全道	594	2	4	-6	705	8
札幌方面	447	-11	2	-5	524	-11
函館方面	41	-8			49	-14
旭川方面	23	-9		-1	29	-9
釧路方面	68	30	1		84	41
北見方面	15		1		19	1

方面別\区分	発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
全道	2,985	219	24	-3	3,554	301
札幌方面	2,248	147	14	-4	2,663	213
函館方面	171	-6		-3	205	-15
旭川方面	229	11	4		273	2
釧路方面	255	66	3	2	303	92
北見方面	82	1	3	2	110	9

(4) 月別発生状況の推移

4月中の死者は4人で過去5年平均8.0人を下回っている。
4月末の死者数は24人で過去平均31.8人を下回ってる。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和5年	13	3	4	4									
年間累計	13	16	20	24									24
過去5年平均	8.8	8.0	7.0	8.0	12.0	9.0	14.2	14.4	14.2	13.4	13.8	11.6	
累計平均	8.8	16.8	23.8	31.8	43.8	52.8	67.0	81.4	95.6	109.0	122.8	134.4	134.4

(5) 都道府県別死者

4月中は大阪府が18人で最も多く、次いで愛知県が13人、東京都が11人となり、北海道は4人で13位となってる。
4月末は大阪府が58人で最も多く、愛知県が48人、千葉県が39人、東京都が37人で北海道は24人で10位となっている。

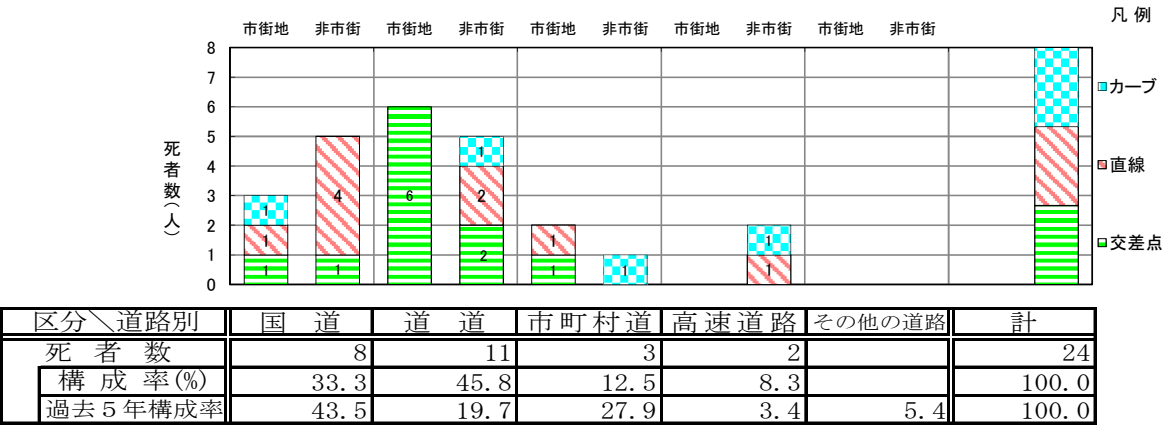
区分\都道府県	大阪	愛知	東京	千葉	福岡	兵庫	福島	岐阜	神奈川	茨城	全国
4月中死者数	18	13	11	9	9	9	8	8	6	6	185
ワースト順位	1	2	3	4	4	4	7	7	9	9	—
前年比	2	4	-1	-3	8	-1	7	2	2	0	-6
増減率(%)	12.5	44.4	-8.3	-25.0	800.0	-10.0	700.0	33.3	50.0	0.0	-3.1

区分\都道府県	大阪	愛知	千葉	東京	福岡	神奈川	兵庫	茨城	埼玉	北海道	全国
4月末死者数	58	48	39	37	36	35	33	30	28	24	798
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—
前年比	13	5	0	-1	18	3	-1	8	-9	-3	45
増減率(%)	28.9	11.6	0.0	-2.6	100.0	9.4	-2.9	36.4	-24.3	-11.1	6.0

3 死亡事故の特徴

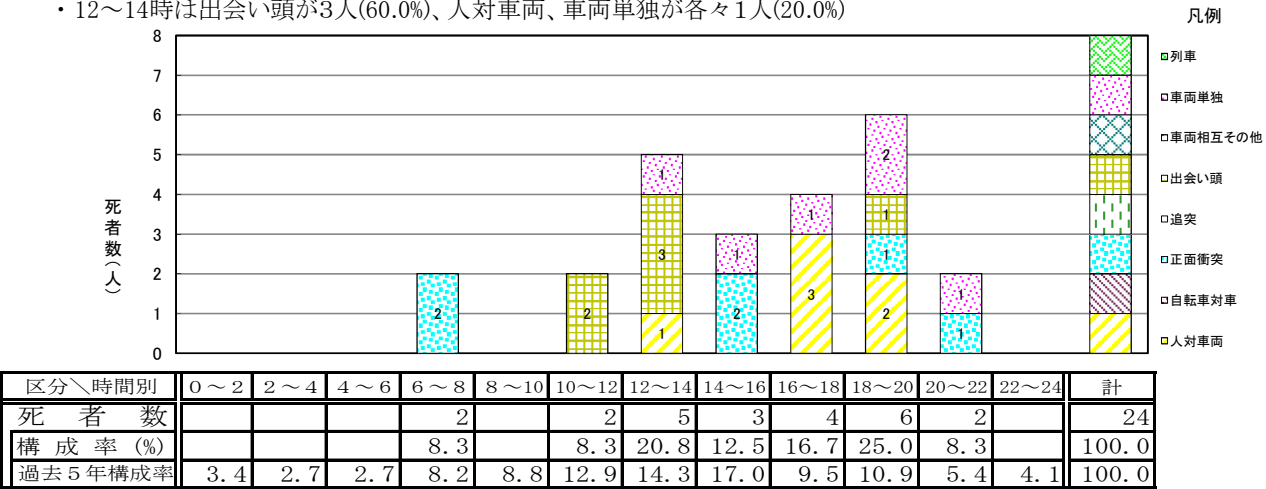
(1) 道路別

道道が11人(45.8%)で最も多く、次いで国道が8人(33.3%)となっている。
・道道は市街地交差点が6人(54.5%)、非市街地交差点、直線が各々2人(18.2%)となっている。
・国道は非市街地直線が4人(50.0%)、市街地交差点、直線、カーブ、非市街地交差点が各々1人(12.5%)となっている。



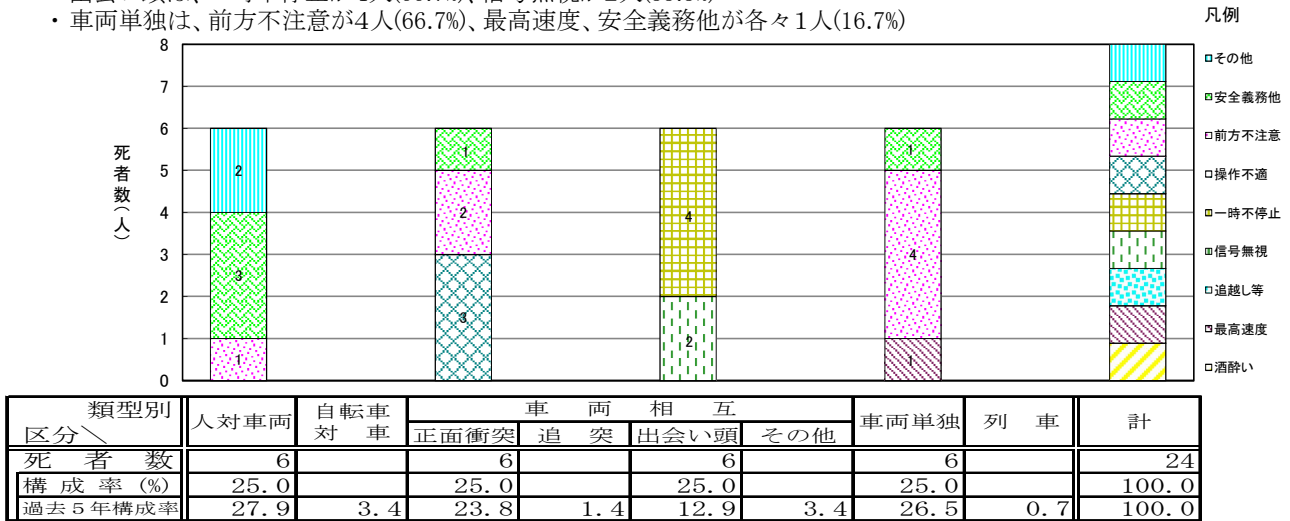
(2) 時間別

・18～20時が6人(25.0%)で最も多く、次いで12～14時が5人(20.8%)となっている。
・18～20時は人対車両、車両単独が各々2人(33.3%)、正面衝突、出会い頭が各々1人(16.7%)
・12～14時は出会い頭が3人(60.0%)、人対車両、車両単独が各々1人(20.0%)



(3) 事故類型別

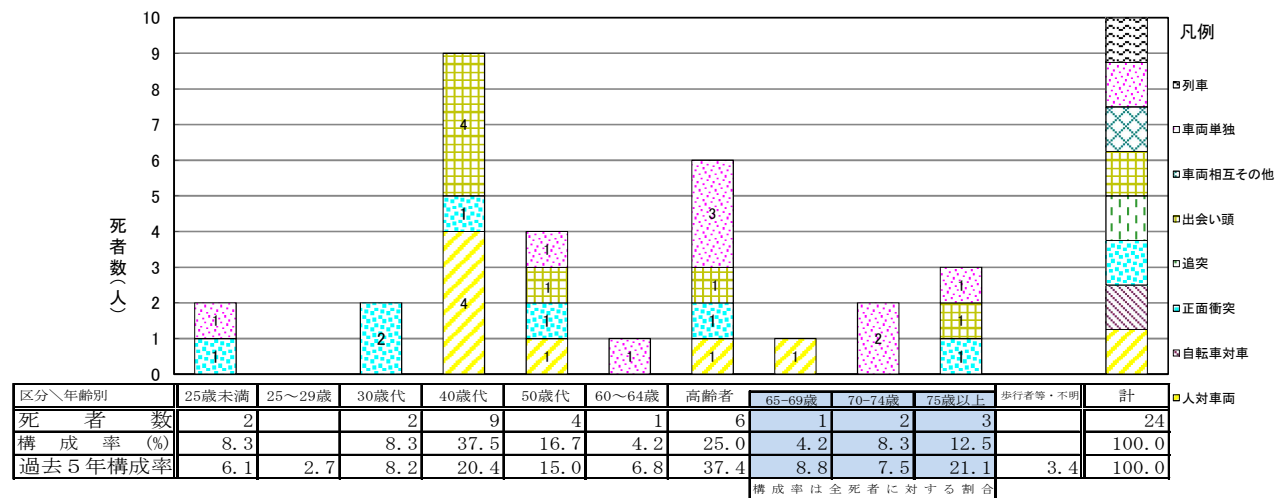
・人対車両、正面衝突、出会い頭、車両単独が各々6人(25.0%)となっている。
・人対車両は、安全義務他が3人(50.0%)、その他(歩行者妨害含む)が2人(33.3%)
・正面衝突は、操作不適が3人(50.0%)、前方不注意が2人(33.3%)
・出会い頭は、一時不停止が4人(66.7%)、信号無視が2人(33.3%)
・車両単独は、前方不注意が4人(66.7%)、最高速度、安全義務他が各々1人(16.7%)



(4) 第一当事者の年齢層別

40歳代運転者によるものが9人(37.5%)、高齢運転者が6人(25.0%)となっている。

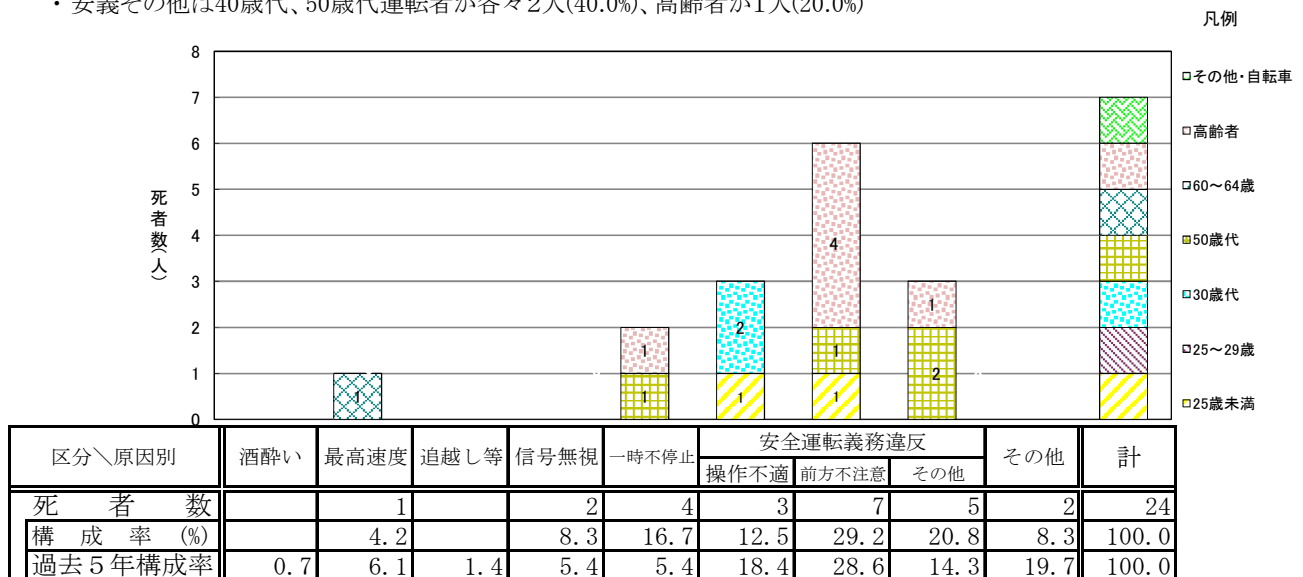
- ・40歳代運転者は人対車両、出会い頭が各々4人(44.4%)
- ・高齢運転者は車両単独が3人(50.0%)、人対車両、正面衝突、出会い頭が各々1人(16.7%)



(5) 第一当事者の違反(原因)別

前方不注意によるものが7人(29.2%)、安全義務他によるものが5人(20.8%)となっている。

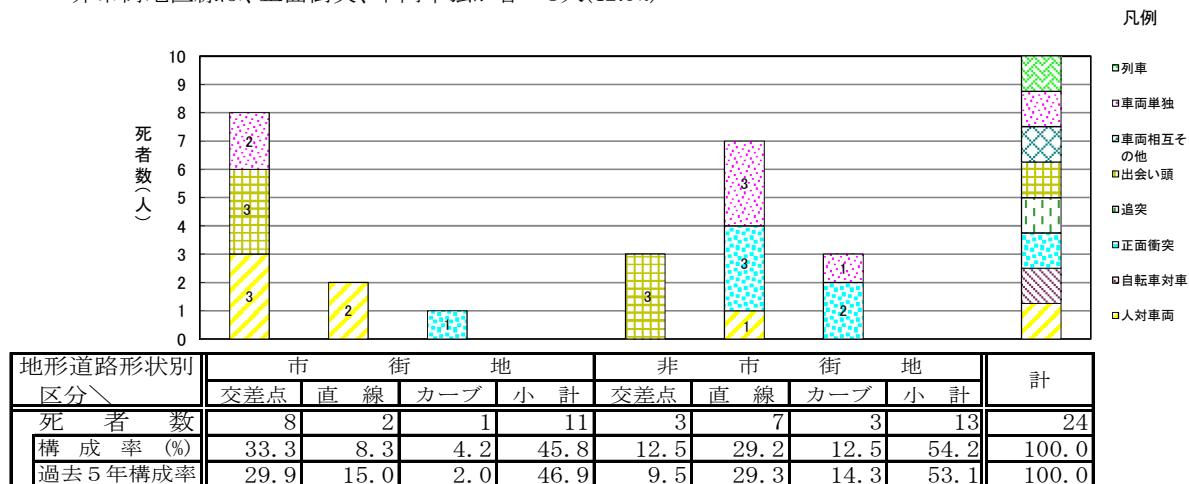
- ・前方不注意は高齢運転者が4人(57.1%)、40歳代、50歳代が各々1人(14.3%)
- ・安義その他は40歳代、50歳代運転者が各々2人(40.0%)、高齢者が1人(20.0%)



(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が8人(33.3%)で、非市街地直線が7人(29.2%)。

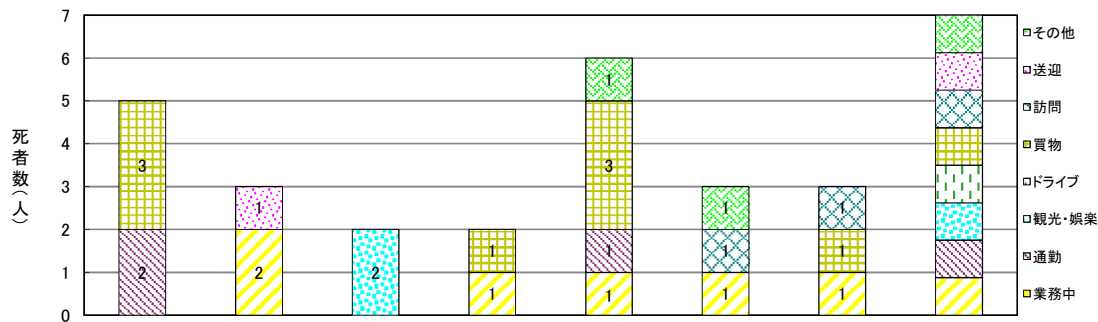
- ・市街地交差点は、人対車両、出会い頭が各々3人(37.5%)、車両単独が2人(25.0%)
- ・非市街地直線は、正面衝突、車両単独が各々3人(42.9%)



(7) 曜日別

- 木曜日が6人(25.0%)、日曜日が5人(20.8%)となっている。
- ・ 木曜日は、買い物が3人(50.0%)、業務中、通勤中、通院が各々1人(16.7%)
 - ・ 日曜日は買物が3人(60.0%)、通勤中が2人(40.0%)

凡例

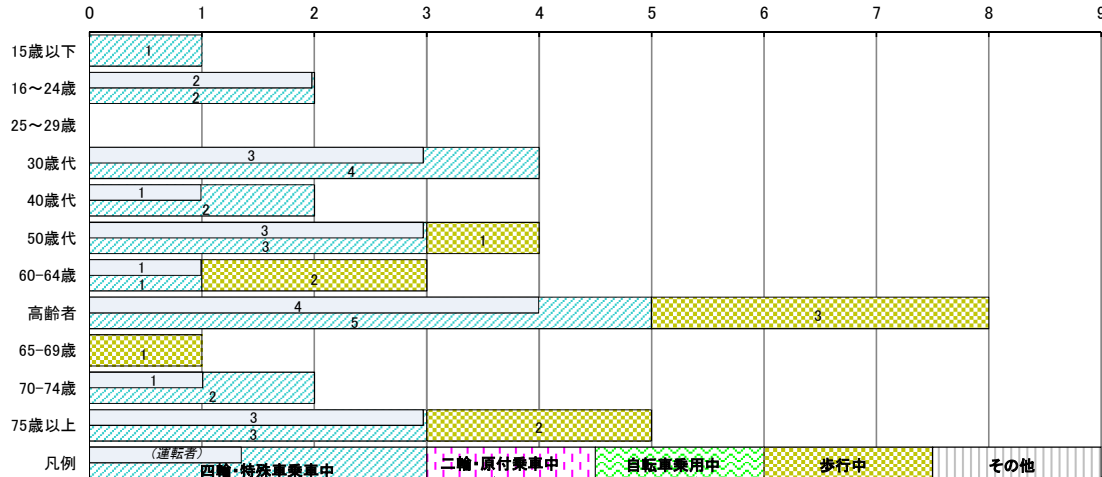


区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	5	3	2	2	6	3	3	24
構成率(%)	20.8	12.5	8.3	8.3	25.0	12.5	12.5	100.0
過去5年構成率	12.9	11.6	12.2	13.6	16.3	20.4	12.9	100.0

(8) 状態別・年齢層別

- 四輪乗車中が18人(75.0%)で最も多く、歩行中が6人(25.0%)となっている。
- ・ 四輪乗車中の死者別年齢層は、高齢者が5人(27.8%)、30歳代が4人(22.2%)
 - ・ 歩行中は高齢者が3人(50.0%)、60～64歳が2人(33.3%)
 - ・ 死者の年齢層別では、高齢者が8人(33.3%)で、うち75歳以上が5人(62.5%)となっている。

死者数(人)



状態別 年齢層別\		四輪乗車中 (特殊車を含む)	二輪乗車中 (原付を含む)	自転車乗車中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
15歳以下	死者数	1					1	4.2	2.0
16～24歳	死者数	2					2	8.3	4.1
25～29歳	死者数								2.0
30歳代	死者数	4					4	16.7	6.8
40歳代	死者数	2					2	8.3	8.8
50歳代	死者数	3			1		4	16.7	10.2
60～64歳	死者数	1			2		3	12.5	7.5
高齢者	死者数	5			3		8	33.3	58.5
65～69歳	死者数				1		1	4.2	11.6
70～74歳	死者数	2					2	8.3	7.5
75歳以上	死者数	3			2		5	20.8	39.5
計	死者数	18			6		24	100.0	
	構成率	75.0			25.0		100.0	—	—
	過去5年構成率	61.9	4.8	4.1	27.9	1.4	100.0	—	—

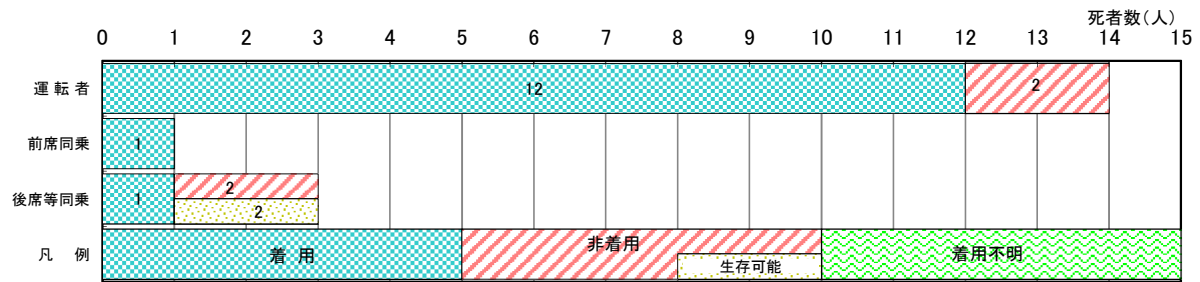
注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

自動車乗車中の死者18人中、シートベルト非着用者は4人(22.2%)となっている。

非着用者2人(後部座席)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していた可能性が高い。



状態別 区分	四輪乗車中等	着用					非着用				着用不明
		計	運転者	同乗者 助手席	同乗者 後部席	計	運転者 生存可	同乗者(助手席) 生存可	同乗者(後部席) 生存可	計	
令和5年	18	14	12	1	1	4	2	0	2	2	
構成率(%)	100.0	77.8	85.7	7.1	7.1	22.2	50.0	0.0	50.0	22.2	

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、30歳代、40歳代、50歳代、60～64歳が各々1人(25.0%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
ベルト着用	3	0	3	1	2	0	5	0	2	3	0	14
構成率(%)	21.4	0.0	21.4	7.1	14.3	0.0	35.7	0.0	14.3	21.4	0.0	100.0
ベルト非着用	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	4
構成率(%)	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。

高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者4人の損傷加害部位をみると、車外他、天井、座席、車内他が各々1人(25.0%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	フロントガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	車内他	その他	計
ベルト着用	0	0	5	1	0	2	1	0	1	3	1	14
構成率(%)	0.0	0.0	35.7	7.1	0.0	14.3	7.1	0.0	7.1	21.4	7.1	100.0
ベルト非着用	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	4
構成率(%)	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	100.0
運転者	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
構成率(%)	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0
同乗者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。

但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。